



SAKURA NEWS  
2009.3.1

# さくら通信

## ■フットケアチーム活動中!!

昨年初めに石亀医師をリーダーとするフットケアチームを立ち上げ、組織的に継続して取り組んでいます。糖尿病は血管の存在する所は全て合併症が出現し得ます。足病変のハイリスク患者さんには足病変の予防教育や指導を含めたフットケアが必要になります。当院では日本糖尿病対策推進会議による「糖尿病患者さん足チェックシート」を足病変の一次スクリーニングに用い、診察時間の短縮・均質化・データベース化を図っています。



フットケアチーム

## ②糖尿病と足病変

フットケア

## ④内科難波豊隆医師

糖尿病治療で有田郡市の方々のお役に立てればと考えております。

## 新入職員

事務員、薬剤師、介護員

## ⑤部署紹介

本館病棟  
環境美化チーム

## ⑥トリアージ訓練実施等

地震発生後トリアージ訓練  
第43回QCサークル活動報告

## ⑦オークワで院外糖尿病教室

オークワ箕島店で院外糖尿病教室実施  
職員表彰、病棟行事



医療法人 千徳会

# 桜ヶ丘病院

# 糖尿病と足病変

## ーフットケアー

内科医師 石亀昌幸

**足病変の  
ハイリスク患者さんには  
足病変の予防教育や  
指導を含めた  
フットケアが  
必要になります。**

糖尿病は血管の病気ともいえます。血管の存在する所は全て合併症が出現し得ます。即ち全身に合併症が存在し得ることになります。糖尿病の足病変も、足趾間や爪の白癬菌症から足趾の変形や胼胝、足潰瘍、足壊疽など幅広い病態が含まれます。糖尿病足病変は自覚症状に乏しく、軽症例では診察機会が少ないです。しかし足潰瘍や足壊疽まで進行すると、長期入院や切断に至ることもあり、場合によっては生命の危険を伴う場合もあります。足病変のハイリスクには足趾や下肢の切断や足潰瘍の既往、末梢神経障害合併、末梢動脈疾患合併、腎不全や透析、視力障害、血糖コントロール不良などが挙げられます。このような患者さんには足病変の予防教育や指導を含めたフットケアが必要になります。足潰瘍が出現すると、足潰瘍部の免荷、デブリメント、血糖コントロール、創のケア、感染の治療、虚血の治療などに栄養学も加えた集学的治療が必要になります。症状に応じて血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科などに依頼する事も重要になります。



自覚症状に乏しい患者さんの足病変を、全例外来で観察するのは時間的制約のため無理があります。当院では日本糖尿病対策推進会議による「糖尿病患者さん足チェックシート」を足病変の一次スクリーニングに用い、診察時間の短縮・均質化・データベース化を図っています。またチェックシートのコピーを患者さんに渡し、患者さんの足病変への知識の普及と自己観察の啓蒙に努めています。足病変が疑われる場合、看護師によるアキレス腱反射、Semmes-Weinsteinモノフィラメントでの知覚検査、C128Hz音叉を用いた振動覚検査、乾燥・角化・白癬、胼胝・変形・血流障害等の観察を行っています。看護師より異常が報告されれば、医師による確認の後治療方針が決定され、爪の処置や足浴などのフットケア外来を定期的に行い、内科的治療も開始しています。ABI(ankle-brachial index)も定期的に行っており、動脈硬化性病変のスクリーニングに頸動脈エコーも施行しています。外科的療法が必要な場合などでは、専門の科を紹介し悪化予防に努めています。

